

# 日本視覚学会2021年夏季大会プログラム

期 日：2021年9月22日（水）～9月24日（金）

（2021年9月21日（火）若手の会 サテライト講演）

場 所：オンライン（Zoom, Gather, Slackを併用。参加者にメール連絡）

主 催：日本視覚学会

- ・一般講演（口頭発表）は発表時間10分、質疑5分の計15分です。
- ・一般講演ではZoomを使用します。
- ・ポスター発表ではGatherを使用します。オンライン上にポスターを掲示することにはなりますが、「A0サイズ横」を想定しポスターを作成してください。
- ・大会期間前の接続練習期間に、口頭発表の場合にはZoomへの接続ならびに画面共有のテスト、ポスター発表の場合にはGatherへの接続ならびにポスター掲示のテストを行ってください。
- ・接続テストやその他発表方法の詳細については、Slackにてお知らせします。
- ・ポスター発表の在席責任時間は下記の通りです。

2p01-2p10：奇数番号 10:30～11:15, 偶数番号 11:15～12:00

2p11-2p21：奇数番号 13:30～14:15, 偶数番号 14:15～15:00

3p01-3p10：奇数番号 10:30～11:15, 偶数番号 11:15～12:00

- ・学生の発表（口頭発表・ポスター発表、非会員も含む）を対象とした「ベストプレゼンテーション賞」の選考を行います。
- ・使用言語は、日本語または英語とします。

9/21 (火)

9/22 (水)

9/23 (木)

9/24 (金)

10:00

11:00

12:00

11:00 幹事会

10:30-12:00  
セッション4  
(ポスター)10:30-12:00  
セッション7  
(ポスター)

12:00 世話人会

13:00

14:00

15:00

16:00

17:00

18:00

19:00

12:50 開会  
13:00-14:35  
セッション1  
(一般講演)13:30-15:00  
セッション5  
(ポスター)13:30-14:45  
セッション8  
(一般講演)15:00-17:20  
若手の会  
サテライト講演15:00-16:00  
セッション2  
(特別講演)15:30-18:00  
セッション6  
(シンポジウム)15:15-16:30  
セッション9  
(一般講演)16:30-18:30  
セッション3  
(シンポジウム)色覚多様性への  
パースペクティブ16:30-17:00  
総会・閉会17:20-18:20  
若手の会 懇親会動物の視覚認知  
: 比較認知研究の  
最前線18:00-19:30  
オンライン懇親会18:30-20:00  
オンライン交流会

(2021年9月21日火曜日)

15:00-17:20 若手の会 2021 夏季大会サテライト講演

ハトにおける非竜長類型の視運動統合過程

幡地祐哉 (相模女子大学)

人の色覚系の基礎と機械学習に基づく色覚研究

Takuma Morimoto (University of Oxford)

17:20-18:20 若手の会 懇親会

1日目 (2021年9月22日水曜日)

11:00- 幹事会

12:50-13:00 開会

実行委員長：溝上陽子 (千葉大学)

13:00-14:35 セッション1 (一般講演)

座長：石田泰一郎 (京都大学)

1o01 手の周囲の注意過程の右利き被験者と左利き被験者の差異

塩入 諭, 笹田拓臣, 西川遼太 (東北大学)

1o02 素肌・化粧肌における多様なツヤの評価軸検討

西野 順, 沖山夏子 (花王株式会社小田原事業場マイクアップ研究所)

1o03 怒りと悲しみの表情が顔色の認識に与える影響

道下 涼<sup>1</sup>, 佐藤弘美<sup>2</sup>, 溝上陽子<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>千葉大学工学部, <sup>2</sup>千葉大学大学院工学研究院)

1o04 感情が及ぼす色空間全体の色知覚の変調

柴田紀代<sup>1</sup>, 栗木一郎<sup>2</sup>, 酒井 宏<sup>1</sup> (<sup>1</sup>筑波大学, <sup>2</sup>埼玉大学)

1o05 背景輝度が無彩色水彩効果へ与える影響

渡部 信<sup>1</sup>, 田代知範<sup>2</sup>, 井澤尚子<sup>3</sup>, 山内泰樹<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>山形大学大学院理工学研究科, <sup>2</sup>静岡県工業技術研究所,

<sup>3</sup>東京家政学院大学現代生活学部)

1o06 等色閾数と明るさ効率の相関関係についての検討

神村友規<sup>1</sup>, 田代知範<sup>2</sup>, 山内泰樹<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>山形大学大学院理工学研究科, <sup>2</sup>静岡県工業技術研究所)

15:00–16:00 セッション2 (特別講演)

座長：溝上陽子 (千葉大学)

チョウが“見る”世界をたずねて

蟻川謙太郎 (総合研究大学院大学先導科学研究科)

16:30–18:30 セッション3 (シンポジウム「動物の視覚認知：比較認知研究の最前線」)

座長：木村英司 (千葉大学)

鳥類の錯視研究から見えてくるもの

牛谷智一 (千葉大学大学院人文科学研究院)

チンパンジーにおける質感知覚：光沢知覚の適応的意義と進化的基盤

伊村知子 (日本女子大学人間社会学部)

げっ歯類におけるゲシュタルト知覚研究

後藤和宏 (相模女子大学人間社会学部)

18:30–20:00 オンライン交流会

2日目 (2021年9月23日木曜日)

10:30–12:00 セッション4 (ポスター発表)

2p01 Classification Images法による Collinear Facilitation の色選択性の解析

熊谷 恭<sup>1</sup>, 佐藤智治<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>一関工業高等専門学校専攻科, <sup>2</sup>一関工業高等専門学校未来創造工学科)

2p02 単一色相の縞模様を用いた Collinear Facilitation の解析

小野寺悠太<sup>1</sup>, 佐藤智治<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>一関工業高等専門学校専攻科, <sup>2</sup>一関工業高等専門学校未来創造工学科)

2p03 盲点領域のメラノプシンによって受容された光刺激が通常視野の絶対闇を上げる

齋藤真里菜<sup>1,2</sup>, 宮本健太郎<sup>3,4</sup>, 村上郁也<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>東京大学大学院人文社会系研究科, <sup>2</sup>日本学術振興会,

<sup>3</sup>オックスフォード大学実験心理学部, <sup>4</sup>理化学研究所脳神経科学研究センター)

2p04 ヘッドマウントディスプレイを用いた仮想空間内での明度恒常性の評価

佐藤一輝<sup>1</sup>, 羽鳥康裕<sup>2</sup>, 塩入 諭<sup>2</sup>, 栗木一郎<sup>3</sup>

(<sup>1</sup>東北大学大学院情報科学研究科, <sup>2</sup>東北大学電気通信研究所,

<sup>3</sup>埼玉大学大学院理工学研究科)

2p05 個人差を考慮した5元メタメリックカラーマッチング

鍵本明里<sup>1,2</sup>, 岡嶋克典<sup>3</sup> (<sup>1</sup>横浜国立大学大学院環境情報学府,

<sup>2</sup>日本学術振興会特別研究員DC, <sup>3</sup>横浜国立大学大学院環境情報研究院)

2p06 脳により近い深層画像処理における色情報分離の影響

篠崎隆志 (情報通信研究機構脳情報通信融合研究センター)

2p07 色と形の潜在的連合に視覚刺激の部分的構造が及ぼす影響

加藤友理亜<sup>1</sup>, 一川 誠<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>千葉大学大学院人文社会科学研究科, <sup>2</sup>千葉大学人文科学研究院)

2p08 時間長知覚の短縮効果における視聴覚情報統合メカニズム—最尤推定を用いた予備的検討—  
朝岡 陸 (千葉大学大学院人文科学研究院)

2p09 接近音による高空間周波数処理の選択的促進  
山崎大暉<sup>1</sup>, 永井聖剛<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>立命館大学OIC総合研究機構, <sup>2</sup>立命館大学総合心理学部)

2p10 視覚刺激の移動方向と発声ピッチにおける知覚-運動間の対応  
鈴木悠介<sup>1</sup>, 山崎大暉<sup>2</sup>, 永井聖剛<sup>3</sup> (<sup>1</sup>立命館大学人間科学研究科,  
<sup>2</sup>立命館大学OIC総合研究機構, <sup>3</sup>立命館大学総合心理学部)

12:00- 世話人会

13:30-15:00 セッション5 (ポスター発表)

2p11 視線解析装置による半盲シミュレートが滑動性追従運動の利得に及ぼす影響  
四之宮佑馬, 伊藤千容, 竹内理香子, 深谷 京, 本多ひなの, 新井田孝裕  
(国際医療福祉大学保健医療学部)

2p12 潜在的注意シフト時における視運動性眼振と瞳孔反応  
金成 慧<sup>1</sup>, 菊地 萌<sup>2</sup> (<sup>1</sup>宇都宮大学工学部, <sup>2</sup>目黒区役所子ども家庭支援センター)

2p13 知覚交替と瞬目の相互作用に関する検討  
佐藤涼矢<sup>1</sup>, 木村英司<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>千葉大学大学院融合理工学府, <sup>2</sup>千葉大学大学院人文科学研究院)

2p14 連続フラッシュ抑制により知覚されない相対運動順応刺激における静止運動残効の測定  
本居 快 (愛知淑徳大学大学院心理医療科学研究科)

2p15 刺激に応じた視線の誘導の特性と生起確率  
二見 樹, 高橋周平, 小川将樹 (三重大学大学院工学研究科)

2p16 中心手がかりに駆動された注意の特性の違いによる視線移動経路への影響  
高橋周平, 二見 樹, 小川将樹 (三重大学)

2p17 仮想空間内のアバターの周囲に向けられる注意の計測  
羽鳥康裕<sup>1</sup>, ハ テウク<sup>2</sup>, 塩入 諭<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>東北大学電気通信研究所, <sup>2</sup>東北大学工学部)

2p18 Voluntariness in visual search decreases hit rate with longer viewing  
Matheus Boger, 酒井 宏 (筑波大学システム情報工学研究科)

2p19 二重課題と感情・覚醒度が見落とし回避に及ぼす影響  
森 美月<sup>1,2</sup>, 一川 誠<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>千葉大学大学院人文社会科学研究科, <sup>2</sup>千葉大学文学部)

2p20 大脳皮質経路と皮質下経路の表情表現: 疋み込みニューラルネットワークを用いた比較  
赤星宏知<sup>1</sup>, 稲垣未来男<sup>1,3</sup>, 林 燥穎<sup>1</sup>, 小松優介<sup>1</sup>, 篠崎隆志<sup>2,3</sup>, 藤田一郎<sup>1,3</sup>  
(<sup>1</sup>大阪大学大学院生命機能研究科, <sup>2</sup>情報通信研究機構,  
<sup>3</sup>脳情報通信融合研究センター)

2p21

感覚層と意思決定層の間にある中間層でのタスクコンテキスト表現

谷 遼, 横森与志喜 (電気通信大学情報理工学研究科)

15:30-18:00 セッション6 (シンポジウム「色覚多様性へのパースペクティブ」)

座長: 溝上陽子 (千葉大学)

「色覚多様性」の認識は人を幸せにするだろうか: 20世紀の振り返りと、今必要な科学の「思慮深さ」  
川端裕人 (作家, サイエンスライター)

色に関する脳内情報表現の多様性

栗木一郎 (埼玉大学大学院理工学研究科)

進化から捉える色覚の多様性

平松千尋 (九州大学芸術工学研究院)

色覚の個人差の要因とその定量的評価

山内泰樹 (山形大学大学院理工学研究科)

18:00-19:30 オンライン懇親会

3日目 (2021年9月24日金曜日)

10:30-12:00 セッション7 (ポスター発表)

3p01

D2図形を用いた傾き対比の微小時間発展の追跡

中村友哉<sup>1,2</sup>, 村上郁也<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東京大学大学院人文社会系研究科, <sup>2</sup>日本学術振興会)

3p02

風景の傾きに対する姿勢調整における複合的な視覚要因の寄与

藤本花音<sup>1,2</sup>, 蘆田 宏<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>京都大学大学院文学研究科, <sup>2</sup>日本学術振興会特別研究員)

3p03

幼児・児童を対象としたリモート視覚発達実験の有効性

—トライポフォビアの発達実験 (鈴木ら, 2020) の追試を通して—

笠原 舞<sup>1</sup>, 鈴木千春<sup>2</sup>, 佐々木恭志郎<sup>3</sup>, 山田祐樹<sup>4</sup>, 伊村知子<sup>2</sup>, 白井 述<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>新潟大学人文学部, <sup>2</sup>日本女子大学人間社会学部,

<sup>3</sup>関西大学総合情報学部, <sup>4</sup>九州大学基幹教育院)

3p04

The effect of surrounding stimulus on the sensitivity to cyclo-disparity and cyclovergence state

Jieyu Wu, 久方瑠美, 金子寛彦 (東京工業大学工学研究科)

3p05

局所的なサイン波運動による大域的な回転仮現運動の抑制

仲田穂子, 村上郁也 (東京大学大学院人文社会系研究科)

3p06

正立三角形に対する倒立三角形の過大視

相原健吾<sup>1</sup>, 山崎大暉<sup>2</sup>, 鈴木悠介<sup>3</sup>, 永井聖剛<sup>1</sup> (<sup>1</sup>立命館大学総合心理学部,

<sup>2</sup>立命館大学OIC総合研究機構, <sup>3</sup>立命館大学人間科学研究科)

3p07

ガボール刺激による回転運動錯視に対する運動残効

満倉英一, 瀬谷安弘 (愛知淑徳大学人間情報学部)

3p08

不確かさ判断の神経機構

山根ゆか子, 銅谷賢治 (沖縄科学技術大学院大学)

3p09 異なるストループ課題負荷に対する顔画像を用いたLF/HFの測定の検討  
 松下 陽<sup>1</sup>, 高橋 凌<sup>1</sup>, 小林康雄<sup>2</sup>, 小玉周平<sup>2</sup>, 真鍋吉仁<sup>2</sup>, 津村徳道<sup>3</sup>, 徳永留美<sup>4</sup>  
 (<sup>1</sup>千葉大学大学院融合理工学府, <sup>2</sup>アストロデザイン株式会社,  
<sup>3</sup>千葉大学大学院工学研究院, <sup>4</sup>千葉大学大学院国際学術研究院)

3p10 全天球映像における視点の高さの知覚の実験心理学的研究  
 原澤賢充<sup>1</sup>, Janina Karhunen<sup>2,3</sup>, 北崎充晃<sup>2</sup>  
 (<sup>1</sup>NHK 放送技術研究所, <sup>2</sup>豊橋技術科学大学, <sup>3</sup>東フィンランド大学)

3p11 コントラストと運動が輝度変調刺激とコントラスト変調刺激の両眼視野闘争に与える影響  
 國武実里<sup>1</sup>, 高橋伸子<sup>2</sup>  
 (<sup>1</sup>愛知淑徳大学院心理医療科学研究科, <sup>2</sup>愛知淑徳大学健康医療科学部)

13:30-14:45 セッション8 (一般講演)  
 座長: 高橋啓介 (愛知淑徳大学)

3o01 周辺視野を活用した情報検索効率化の検討  
 松永大河<sup>1</sup>, Yung-Hao Yang<sup>1</sup>, 三好清文<sup>1</sup>, 西田真也<sup>1,2</sup>  
 (<sup>1</sup>京都大学情報学研究科, <sup>2</sup>NTTコミュニケーション科学基礎研究所)

3o02 視覚情報に基づく移動距離および移動時間推定に対する順応効果  
 大塚 拓, 四本裕子 (東京大学大学院総合文化研究科)

3o03 網膜走査型ディスプレイによる屈折度数の変化  
 広田雅和<sup>1,2</sup>, 佐々木翔<sup>1</sup>, 加藤可奈子<sup>1</sup>, 中込亮太<sup>1</sup>, 瀧川流星<sup>1</sup>, 岡部千夏<sup>1</sup>,  
 鎌倉舞香<sup>1</sup>, 三橋俊文<sup>1</sup>, 森野誠治<sup>3</sup>, 鈴木 誠<sup>3</sup>, 林 孝雄<sup>1,2</sup>  
 (<sup>1</sup>帝京大学医療技術学部, <sup>2</sup>帝京大学医学部, <sup>3</sup>株式会社QDレーザ)

3o04 視線移動に応じた多重解像度ディスプレイで制御感覚が失われる臨界描画遅延時間  
 金 俊熙, 萩田貴子 (東京工業大学工学院機械系)

3o05 メラニン・ヘモグロビンによる肌色変化における顔の明るさ知覚  
 北野卓久<sup>1</sup>, 佐藤弘美<sup>2</sup>, 溝上陽子<sup>2</sup>  
 (<sup>1</sup>千葉大学工学部, <sup>2</sup>千葉大学大学院工学研究院)

15:15-16:30 セッション9 (一般講演)  
 座長: 白井 述 (新潟大学)

3o06 方位知覚の系列依存性—心理物理学的逆相関法による検討—  
 村井祐基<sup>1,2,3</sup>, David Whitney<sup>1</sup> (<sup>1</sup>カリフォルニア大学バークレー校心理学部,  
<sup>2</sup>大阪大学大学院生命機能研究科, <sup>3</sup>日本学術振興会)

3o07 ぼけた画像を体験することが視覚系に与える効果のin silico分析  
 西田真也<sup>1,2</sup>, 吉原 創<sup>1</sup>, 吹上大樹<sup>2</sup>  
 (<sup>1</sup>京都大学大学院情報学研究科, <sup>2</sup>NTTコミュニケーション科学基礎研究所)

3o08 青色刺激による瞳孔径変化の抑制  
 鯉田孝和<sup>1,2</sup>, 平等裕也<sup>2</sup>, 木村真大<sup>2</sup>  
 (<sup>1</sup>豊橋技術科学大学エレクトロニクス先端融合研究所,  
<sup>2</sup>豊橋技術科学大学情報・知能工学系)

3o09 眩しさ知覚へ及ぼすipRGC応答の寄与  
鈴木雅洋<sup>1,2</sup>, 矢口 晶<sup>2</sup>, 中枝武弘<sup>2</sup>, 増田 修<sup>3</sup>, 内川恵二<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>聖泉大学, <sup>2</sup>神奈川工科大学, <sup>3</sup>新潟医療福祉大学)

3o10 識字におけるミッシングファンダメンタルを応用した高周波数成分のみによる位相  
手がかりの再現可能性  
岡田真幸, 山岡 悠, 古川正絃 (大阪大学大学院情報科学研究科)

16:30-17:00 総会・閉会